

令和 7 年 5 月守口市農業委員会総会

開催日時 令和 7 年 5 月 2 1 日 午後 2 時 0 0 分～

開催場所 守口市役所 1 階 市民会議室 1 0 4

出席委員 ①西口 誠一 ②田中 明美 ③大倉 利文 ④木村 剛久
⑤砂口 勝紀 ⑥辻本 恵美子 ⑦辻本 卓郎 ⑧中東 郷美
⑨橋本 徹 ⑩三島 雅子 ⑪山田 哲三

事務局 宇都宮、飯島、西端、大路

閉会時間 午後 2 時 2 9 分

西口会長

それでは、ただいまから令和 7 年 5 月の守口市農業委員会総会を開催いたします。着座させていただきます。

初めに、ここ 1 か月でいろんな起こった出来事を紹介かたがたさせていただきますと思います。

先月、5 月の 1 9 日やったんですけども、論説にも出ておりまして、気候変動時代の農業ということで、記録的な高温をはじめ、かつてない気候変動が農畜産物に深刻な打撃を与えております。皆さん方も昨年で十分御承知のことが多いと思います。日本農業新聞を調べたら、農家や農業関係者の 9 7 % は農業経営や地域農業が気候変動によってものすごく打撃を受けてますという話が出ておりました。

あとはですね、米の問題、いろいろ問題出ておりますけども、店頭価格は西高東低ということで西日本は高く東日本は低い。西日本は生産量が少なく、在庫も少ないので上昇しているということで、日本農業新聞は国内の主要な 9 都市で米の価格や品ぞろえなどの店頭調査を行ったと。東日本では在庫が豊富で店頭価格は低くなって一方で、西日本では比較的米の在庫が少なく割高な傾向が見られますということが出ております。

昨日からラジオ、新聞でも出てます農水大臣がお替わりになりました。辞表を提出されて、新しい農水大臣は御承知のように小泉進次郎さんという形になりました。

あと、これも新聞で出ておりました。黒潮の蛇行について、今年で収束ではないかという意見が、観測が出てました。黒潮が蛇行しておりましたんで日本は猛暑やったけども、その猛暑の一因解消になるんじゃないかと、7 年 9 か月ぶりの兆候やということ

で、今までは蛇行してぐうっと太平洋のほうへ出ておりましたけれども、日本列島に近づいてる、7年9か月ぶりですよというニュースが出ております。

あとはですね、これは論説でも出てます。一般新聞にも出てます。食品ロスの削減ということで、米をはじめ食料品の価格上昇が続く中、まだ食べられるのに捨てられる食品ロスですね、どう減らすかが大きな課題になっています。

日本の場合、廃棄を減らそうと消費者庁は3月、食品の期限表示を延長する新たな表示指針を示して、関係業界に協力を求めたと。事業者だけでなく家庭でもロス削減を実践してくださいと、国内の食品ロスですね、これは22年度の推計でございますけども1年間で472万tで、国連世界食糧計画の食料支援量、23年の国連が支援する約1.3倍にあがります。

1人当たりの食品ロスの量は年間38キロ。毎日おにぎりを1個分食べずに捨ててるという状況を迎えてるということで、各御家庭のほうでも食品ロスを減らすような努力をお願いしたいということが出ておるんです。

あとは、もう一つは、相続の国有化が一番多いですよということ。これは制度開始2年で全体の4割超になってますということで、相続しても使い道のない土地を国が引き取る相続土地国庫帰属制度についてですね。農地が一番多いですよと、域外からの管理の負担が重いということで、みんな農地は手放してるという状況を迎えているということですね。

あとは、農業の状況ですけども、一時新聞紙上で騒がれてた植物工場がもう曲がり角を迎えております。国内で大型の植物工場の約6割が赤字で、大手の植物工場は既に撤退しておりますよということで、電気代が高くなったこと、それに反して収益量が低下してるということで、植物工場がもう撤退してるということでございます。

あともう一つは、読売新聞にも出てました先端技術国際標準化支援を行いますということで、先端技術は何ぞやといいますと、次世代対応電池、あとはもう一つは量子、それとバイオあたり。経済産業省は、次世代の太陽電池と期待されるペロブスカイト太陽電池などの先端技術の競争力を高めるため、日本が強みを持つ製品の国際化に向け支援に乗り出すということで、その辺ちょうど先ほども言いました量子、水素、アンモニアを含む5分野を重点分野と位置づけて、官民連携で開発推進に当たるということが出てます。量子についてはいろいろありまして、御存じの方も多

いと思いますけども、量子超越に達しましたということで、新しい時代を迎えてますよという。これは何かといいますと、2019年から2020年、量子超越とはということで、量子コンピューターという全く新しいタイプのコンピューターが出てきましたよってということで、見てみますと、まずGoogleあたりが新しい開発した量子コンピューターですね。シカモアっていうような名前ついておりますけども、世界最速のスーパーコンピューターと、それはもう知っておられるように出ておりますけども、それに比べてですね比べもんにならないぐらいの速いスピードの量子コンピューターというのが開発されたということで、これはアメリカもそうですし、中国でもその辺の量子コンピューターっていうのが開発が進んでまして、通常のスーパーコンピューターより100兆倍速い計算速度を持つ量子コンピューターっていうのができましたよということで、これが出てきますとまた新しい世界が開かれてくるということで、AIもそうですけども、AIのほうもかなり加速して進んでこようかなと思います。ということで、量子コンピューターっていうのが出てきてますよと。アメリカは進んでますし、中国の科学院のほうでも量子イノベーション研究所っていうのが出てきてまして、量子コンピューターっていうのをもう出来上がってますってということでございます。最近の情報はそんなようなことで、日々変化しておるということでございます。

それでは会議のほうに戻らせていただきまして、それでは事務局より本日の欠席委員の報告をお願いいたします。

事務局

御報告申し上げます。本日、欠席届が出ている委員は大西委員、西川委員、山崎委員の3名です。したがって、本日の出席委員数は11名でございます。

以上です。

西口会長

ありがとうございます。定足数を満たしておりますので、本日の総会は成立いたします。

それでは、初めに、農業委員会憲章を唱和したいと思います。田中会長職務代理の唱和に続いてよろしくお願いいたします。

《農業委員会憲章の唱和》

西口会長

ありがとうございます。

本日の署名委員は木村委員と辻本卓郎委員にお願いいたします。
よろしくお願いいたします。

それでは、議事進行にまいります。

発言に際しては、まず挙手をお願いします。その後、私のほうから指名させていただきますので、発言をよろしくお願いいたします。

それでは、付議事件、議案第1号の説明を事務局からよろしくお願いいたします。

事務局

それでは、議案第1号「令和6年度最適化活動の目標及び目標に対する点検・評価」を御参照ください。

農業委員会等に関する法律第6条第2項の「農業委員会が行う農地等の利用の最適化の推進に係る活動」の成果目標及び活動目標について、（お手元の参考資料1）農林水産省経営局長通知「農業委員会による最適化活動の推進等について」、毎年度3月末までに翌年度の目標を設定することとされており、令和6年度の目標は令和6年3月総会で承認を得て、（お手元の参考資料2のとおり）設定し、公表しているものです。なお、本市は、同通知別表2に掲げる全域市街化区域の市であるため、同通知別紙において、目標設定のうち、1成果目標の設定については（2）遊休農地の解消のみを、また、2活動目標の設定については（1）日数目標のみを設定するものとされているため、当該部分のみを目標設定しております。

本目標につきまして、令和7年3月11日付大阪府環境農林水産部農政室長通知において、5月末までに農業委員会総会で点検・評価を行い、6月末までに大阪府へ報告の上、公表するものとされました。

よって、本日は令和6年度の活動実績を踏まえて、点検及び評価を行います。

それでは、お手元の資料1（別紙様式5）を御参照ください。

まず、1ページ目につきましては、農業委員会の状況になっておりまして、こちらは令和6年4月1日現在の各種統計等から見た現況を記載しております。

2ページ目から5ページ目までは、最適化活動の実施状況を記

載しております。

続きまして、資料 2 及び資料 3 においては、事務の実施状況といたしまして、総会の開催実績等を記載しています。

最後に、資料 4 につきましては、委員の皆様に行っていただいている最適化活動の実績を記載しています。

点検・評価内容に係る説明は以上になります。

西口会長

説明が終わりました。委員の皆さん方で何か御意見があれば頂戴したいと思います。

何か意見ございませんか。どうぞ。

砂口委員

色々こう資料を集計して何かしてもうてるんですけどもね、ちょっと資料だけで、ちょっと私は読み取られへんけどね、この集計していただいた内容から見てね、何かの傾向が読み取れるのか、特色ある何かがあるのかというのは、その辺のところはどういうふうに判断されてるのかなと思って。何かこれを説明、これ皆そんなことはないんですか、事務局でも。

西口会長

はい、どうぞ。

事務局

ありがとうございます。委員御指摘のところで傾向としましては、本市はもう全域市街化区域で農地面積もそこまでは大きくないということもございまして、違反転用に当たるようなところもなく、農地がしっかりと管理されている状況だということが見てとれます。

ただですね、農地のパトロールですとか、そういう点検につきましては、やや目標を下回っている状況となっておりますので、目標どおりの実施が求められるところかなというところが見てとれます。

以上です。

西口会長

砂口委員、どうですか。

砂口委員
分かりました。

西口会長
いいですかね。

砂口委員
はい。

西口会長
ほか、委員の皆さん方で御意見あったら頂戴したいと思います。
ほかに質問がないようでしたら、採決に移りたいと思います。
議案第１号「令和６年度最適化活動の目標及び目標に対する点検・評価」について、承認の方は挙手をお願いいたします。

(挙 手)

西口会長
全員の挙手をいただきました。ありがとうございました。それでは、全会一致で可決承認させていただきます。
それでは次に、付議事件、報告第１号の説明を事務局からよろしくをお願いいたします。

事務局
それでは、報告第１号「農地法第４条第１項第７号の規定による農地転用届出について」を御参照ください。
届出農地の詳細は記載のとおりでございます。こちら無断転用の案件になりまして、当該農地周辺に農地がないことから、「守口市農業委員会申合せ事項第３項」の規定に基づき、農地転用の影響等確認が不要としたものです。こちらにつきましては、令和７年４月２４日付で届出があり、令和７年４月２８日に受理通知書の発行を行ったものです。また、農地法関係事務に係る処理基準について、第６の３の（２）届出を受理しない場合には該当いたしません。
以上でございます。

西口会長
説明が終わりました。委員の皆さんで御意見ありましたら頂戴

したいと思います。

ほかにはないようでございますので、本日の議題は以上となります。よろしいですかね。

最後に、事務局から何かありましたらお願いしたいです。

事務局

次回総会について御連絡させていただきます。次回の総会は令和7年6月23日月曜日、午後2時から、市役所1階の会議室103で開催を予定しております。よろしくお願いいたします。

以上です。

西口会長

ありがとうございます。

それでは以上で、令和7年5月の農業委員会総会を終了いたします。

守口市農業委員 署名委員